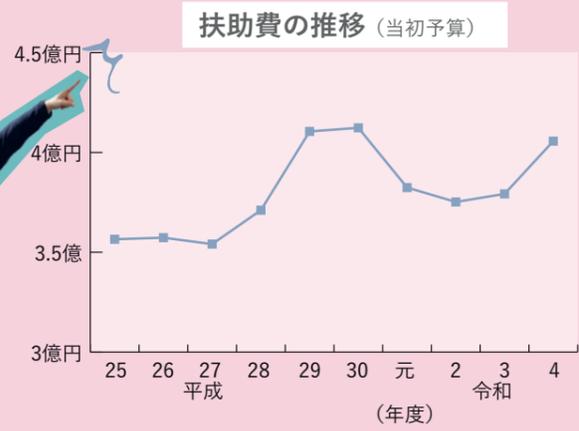


これは、扶助費。少子高齢化などでどんどん増えているのがわかるね。



10年で約5000万円も増えているの?!



これならわかる!

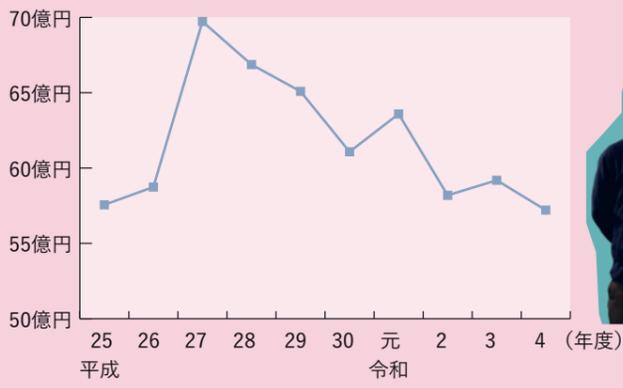
民生費	児童、高齢者、障がい者などの支援や生活保護などにかかるお金。
総務費	庁舎などの管理、町税の賦課徴収、戸籍など他に分類されないお金。
衛生費	予防接種などの健康管理や疾病予防、ごみの収集などにかかるお金。
教育費	学校の管理運営、生涯学習、スポーツ振興など教育にかかるお金。
消防費	火災、風水害、地震等の災害から町民を守るためのお金。
農林水産業費	農林水産業の振興や農道、林道の整備にかかるお金。
公債費	町債(借金)の返済にかかるお金。
土木費	道路、河川、住宅などの公共施設の整備や維持管理にかかるお金。

それじゃ、難しい言葉をわかりやすく解説しよう!



一時的に増えたけど徐々に減ってきてる!

町債(借金)の推移(当初予算)



最後に借金(町債)の推移。徐々に減ってきているのがわかるね!



くにもみ家の家計簿

もっとわかりやすくするために、国見町の決算を一般家庭の家計簿に置き換えてみたよ!

国見町の令和4年度一般会計予算を、世帯の収入が月40万円(年480万円)の一般家庭の家計簿(月)に例えてみました。

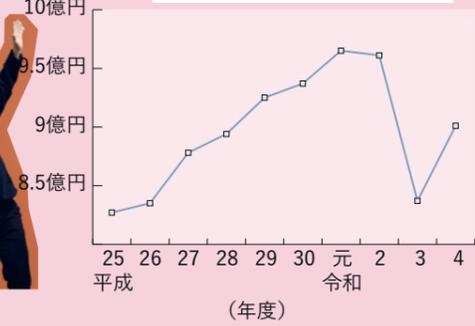


収入		支出	
給料	282,300円 (70.5%)	食費	99,300円 (24.8%)
うち本俸	241,200円 (60.3%)	人件費	
うち手当	41,100円 (10.2%)	医療費や保育料など	30,600円 (7.7%)
親からの仕送り	71,000円 (17.8%)	扶助費	
貯金の取り崩し	24,800円 (6.2%)	借金の返済	26,200円 (6.5%)
繰入金		公債費	
借金	9,200円 (2.3%)	光熱水費や通信費など	173,000円 (43.3%)
町債		物件費	
臨時収入	12,700円 (3.2%)	家や車の修理や買い替え	24,800円 (6.0%)
繰越金・諸収入		維持補修費、普通建設事業費、災害復旧事業費	
合計	400,000円	家族への仕送り	36,700円 (9.2%)
		補助金、繰出金	
		貯金	9,400円 (2.5%)
		積立金、投資、出資及び貸付金	
		合計	400,000円

※給料のうち、本俸については、町税のみとする考え方が一般的ですが、小規模自治体の財政構造上、地方交付税も本俸に計上しています。

えっこんなに?

町税の推移(当初予算費)



これは、町税の推移をグラフにしたもの。令和3年度はコロナ禍で大きく落ち込んでいるのがわかるね。



次に注意して見てほしい3つのグラフがあるんだ!

健やかに暮らせるまちづくり

<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業</p> <p>全町民が、速やかに3回目のワクチン接種ができるよう、接種体制を整えます。</p> <p>事業費 3,153万円</p>	<p>集団検診事業</p> <p>成人の検診体制を整え、生活習慣病の早期発見・治療・予防につなげます。</p> <p>事業費 1,839万円</p>	<p>健康増進事業</p> <p>生活習慣病の予防や運動習慣の定着を図り、健康寿命の延伸を目指します。</p> <p>事業費 269万円</p>
---	--	--

安全・安心なまちづくり

<p>地域公共交通支援事業</p> <p>「まちなかタクシー」を有効に活用し、利用しやすい地域公共交通を形成します。</p> <p>事業費 2,357万円</p>	<p>歴史公園維持管理・活用事業</p> <p>「あつかし千年公園」の適切な維持管理と、公園を活用した事業を展開します。</p> <p>事業費 541万円</p>	<p>SDGs推進事業</p> <p>脱炭素社会を目指し、国見町に適した自然エネルギーを導入の調査・研究を行います。</p> <p>事業費 500万円</p>
---	---	---